

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり
---------	-----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	道路維持課 大賀隆宏	電話番号	0852-22-5187
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	橋梁耐震事業		
目的	(1) 対象	救急、消防等災害発生時の活動組織	
	(2) 意図	緊急輸送道路の信頼性確保	
事業概要	<p>○災害発生時における救助、救急、消防活動及び救援物資の輸送が円滑に行えるよう、緊急輸送道路上の橋梁の耐震化を行う。</p> <p>緊急輸送道路上にある島根県が管理する橋梁のうち、平成7年以前の基準で建設され、被災した場合に早期に復旧することが難しい長さ15m以上の橋梁（207橋）の耐震化を平成30年代半ばを目標に行う。</p>		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	緊急輸送道路網橋梁耐震対策実施率	目標値		62.0	67.0	71.0	73.0	%
	式・定義	橋梁耐震対策完了橋梁数（累計）／対策が必要な橋梁数（207橋）	取組目標値						
			実績値	59.0	60.9	64.7			
			達成率	-	98.3	96.6	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,862,805	1,872,292
うち一般財源 (千円)	40,996	71,820

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基いた現状）

- 対象橋梁（207橋）のうち、平成29年度末で134橋の耐震化が完了。
- 特に耐震性能が低い昭和55年より前の設計基準で建設された橋梁（119橋）について優先して耐震化を進めており、平成29年度末で113橋が完了（95%）。
- 残る昭和55年～平成7年の設計基準で建設された橋梁（88橋）については、平成29年度末で21橋が完了（24%）。
- 未完了の橋梁のうち、平成29年度末時点で23橋の耐震化を実施中。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成29年度は新たに8橋の耐震化が完了した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 橋梁の耐震化を計画的に進めているが、成果指標の達成率が低下してきている状況。

②困っている状況が発生している「原因」

- 近年の物価上昇や諸経費の見直し、大規模河川にかかる橋梁において仮締切工等の仮設費が多額になるなど、計画策定時点と比べて工事費が増加していること。

③原因を解消するための「課題」

- 橋梁の耐震化を着実に進めるための安定した予算の確保と、補正予算等あらゆる機会を活かした予算の上積みを図る必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 国の通常予算における交付金の他、補正予算等の機会を活用しつつ、橋梁耐震化予算を最大限確保するよう努める。また、補正予算等に対応できるよう、耐震設計調査を先行して行う。
- 限られた予算の中で整備効果を高めるため、災害時の緊急搬送において特に影響がある路線や交通量等を考慮し、整備優先区間の選定による効率的な整備方針を検討していく。